

海外巡回健康相談 — インドネシア、ジャカルタ (2016/10/8-11)

1) ジャカルタで子育て講演会を実施 (10/9-10)

今年度の第4回海外巡回健康相談はインドネシアの首都、ジャカルタ。インドネシアは中国、インド、米国に次ぐ世界第4位の人口約2.59億人。約18,000人の在留邦人が登録されている(2015年)。ジャカルタの人口は1千万人を超え、近郊を含む都市圏人口は約3千万人で東京に次ぐメガシティだ。

今年度は諸般の事情により、例年実施の発達・子育て相談会とメンタルヘルス相談会を取りやめ、広瀬先生による幼稚園児の保護者との子育て懇話会と、ジャカルタ日本人学校における子育て講演会を実施した。

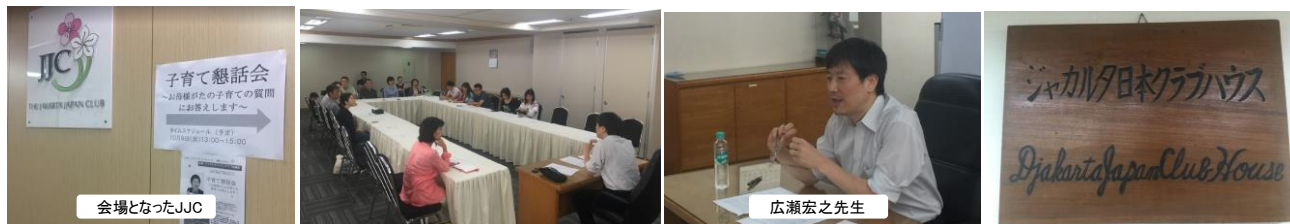


インドネシア医療巡回実績

都市	場所	スケジュール	医師	参加者数
ジャカルタ (10/9, 10)	ジャカルタ・ジャパン・クラブ	JJC子育て懇話会	広瀬宏之先生	13家族 (約20名)
	ジャカルタ日本人学校	ジャカルタ日本人学校 子育て講演会	広瀬宏之先生	約170名

2) JJC子育て懇話会～お母様がたの子育ての質問にお答えします～ (10/9)

- 幼稚園児の保護者向け子育て懇話会は10月9日(日)、ジャカルタ・ジャパン・クラブ(JJC)の主催によりJJC事務所の会議室で開催された。保護者の募集から会場の手配まで、全面的にJJC吉田晋事務局長がご手配くださった。
- お話しされたのは、じゃかるた新聞「子育て相談」でおなじみの横須賀市療育相談センター所長、小児精神・神経科医の広瀬宏之先生。JOMFの海外巡回健康相談として、今年が10回目のインドネシア訪問となった。
- 懇話会は保護者の方々の子育てや発達についての質問に広瀬先生が答えるといった形で実施、13家族の保護者約20名が参加した。日曜日の開催だったためか、両親と子どもの家族での参加が多く、懇話会後に個別の相談を希望するなど、熱心な保護者が多かった。



3) JJS子育て講演会: 適応～新しい環境に上手に馴染んでいくために～ (10/10)

- 10月10日(月)広瀬先生によるジャカルタ日本人学校及び同幼稚部の保護者向け子育て講演会をジャカルタ日本人学校(JJS/児童生徒数1,190名。校長: 齋藤稔先生)で開催。例年の約3倍にあたるおよそ170名の保護者が受講した。
- 講演後は今年も質問者による長い列ができた。
- 子育て講演会の後は、幼稚部(園長: 吉野恵理子先生)での事例検討会、幼稚部職員との懇談会を実施。

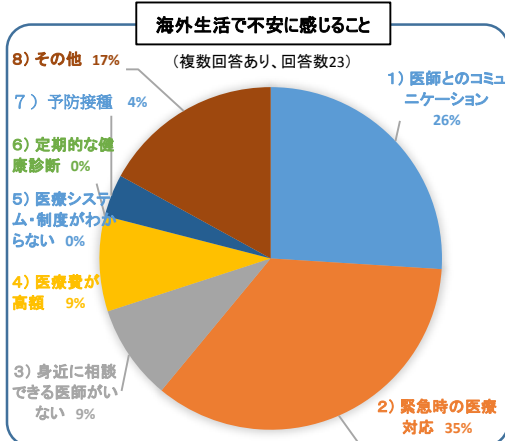


4) ジャカルタ医療事情

JJC保護者懇話会参加者へ現地の医療事情についてアンケートを実施。ジャカルタにおいて医療に不安を持つ人は84%。不安要因は;

- ① 緊急時の医療対応 (35%)
- ② 医師とのコミュニケーション (26%)
- ③ 身近に相談できる医師がない (9%)
- ③ 医療費が高額 (9%)

今年度は、各巡回先における上記アンケートのほかに、東京医科大学歯学部と協力し、「海外に在住する日本人小児の口腔保健および生活習慣に関する調査」を実施しています。



JOMFの医療支援活動

JOMFは、海外に在留している日本人を医療面でサポートするために1984年に創立され、現在は海外で2か所に日本人常駐医師を派遣している。また、その他の地域には、2001年から専門科目の日本人医師を派遣して、海外巡回健康相談を行っている。国内では、海外在留邦人からの電話・メール・掲示板による医療相談を受けたり、会員企業や産業界をサポートする講演会、セミナー等を開催している。

JOMFの事業内容－海外専門科目医療相談:
<http://www.jomf.or.jp/about/jigyuu/spacial.htm>